



きらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

スポーツ

校長 道山 正史

早いもので、今年もあと一ヶ月となりました。それぞれのご家庭ではたくさんの出来事があったと思います。世の中もいろいろな出来事がありました。そこで、私の独断と偏見で今年のスポーツ界を振り返ってみましょう。スポーツ界もいやな出来事は結構ありましたが、ここは素晴らしかったり、良い意味で興奮させられ、感動したりした出来事を思い出したいですね。

まずは平昌オリンピック・パラリンピック。

羽生結弦選手のオリンピック2連覇。小平奈緒選手と李相花選手との500mの競技終了後の2人でのウィングランや高木姉妹の活躍。高木姉妹の活躍は、スピードスケートって、いろいろな種目があるんだなと思いました。女子カーリングのロコ・ソラーレの活躍。「もぐもぐタイム」など、話題もたくさんありました。パラリンピックではスノーボードの成田緑夢選手やアルペンスキーの村岡桃佳選手が大活躍でしたね。自分もやってみたいなんて、ちょっと思いました。

サッカーW杯ロシア大会

なんと言ってもベルギー戦。ほんとに惜しかった。見ていて時間を忘れるほど熱中してテレビを見ました。

夏の甲子園

大阪桐蔭高校の史上初の2度目の春夏連覇や金足農高の吉田輝星投手の頑張りが話題でした。熱中症は大丈夫か？なんて思いながらテレビで観戦しました。

女子全米オープンテニス

大坂なおみ選手のグランドスラム初優勝。チャーミングな受け答えで、今でも何かと話題の人ですね。

スポーツは、観戦しても、自分たちでやっても、私たちを楽しくさせ、感動をもたらし、生きがいを感じさせる場面をたくさん提供してくれます。体が多少不自由になってしまい、これまでやることで楽しんできたことができなくなってしまった自分も、いろいろなスポーツを観戦し、またテレビで見ることで感動をもらい、場合によっては何とか自分にもできるようにならないだろうかと考えてみたりもします。スポーツは人生を豊かなものにしてくれますが、もちろんスポーツだけでなく芸術も人生を豊かなものにしてくれますね。さあ、来年はどんな感動に巡り会えるでしょうか。

良いお年をお迎え下さい。